

図書館だより

宗岡第二中学校 学校図書館 2022年度 No.2



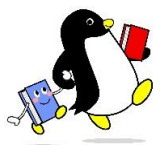
【図書館アンケート】



4月に行った1年生向け図書館オリエンテーション実施結果（回答数95名）

①本を読むのが好きな人が95名中62名という、大変頼もしい結果となりました。
4月～5月13日までの1年生貸し出し冊数は、165冊という素晴らしい結果になっています。

②学校に置いてほしい本の種類

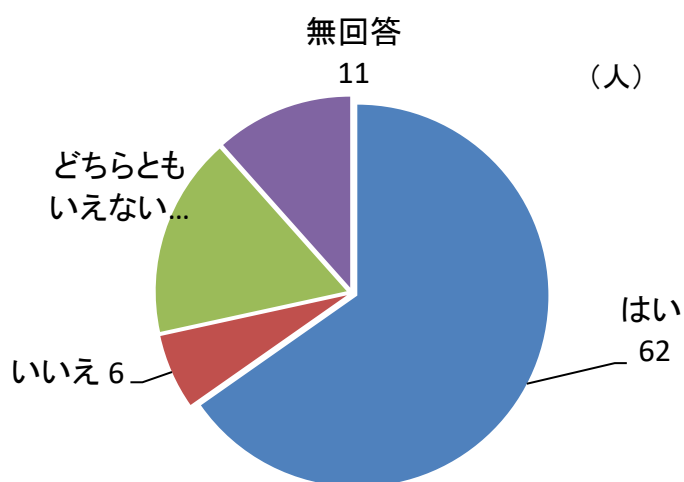


順位	フィクション	ノンフィクション
1位	ファンタジー	歴史
2位	恋愛/ミステリー	動物
3位	スポーツ	スポーツ

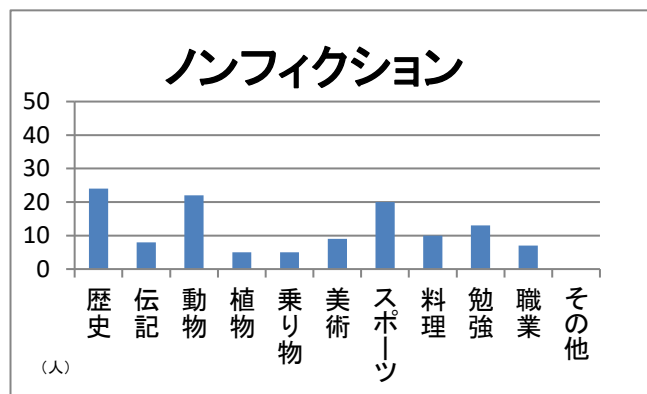
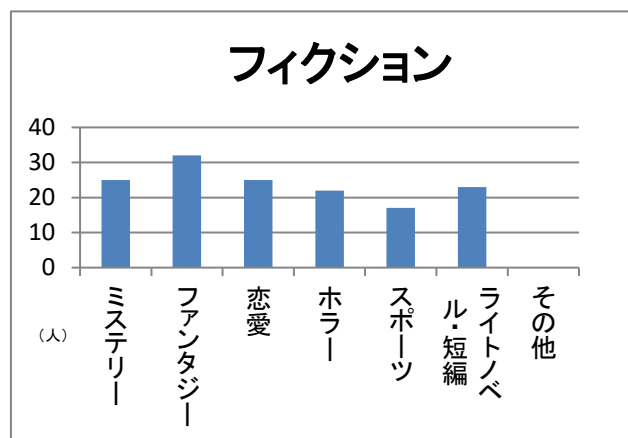
また、今まで読んだ本でおもしろかった本、学校に置いてほしい本の題名を聞いたところ、100冊ほど回答してくれました。

今後の、図書購入時の参考にいたします。ご協力ありがとうございました！

①本を読むのは好きですか？



②学校に置いてほしい本の種類は何ですか？



図書館よりお知らせ

1年生で図書館オリエンテーションの時に、『読書手帳』をもらえなかった人は、作成したので図書館まできてください。また、『読書手帳』の落とし物が増えています。必ず名前を記入してください。

『徒然草（つれづれぐさ）』

兼好法師 著

丹波国に、出雲大社の分社があります。ある僧侶がそこを訪れた時、狛犬が普通とは異なり、背を向け合って並べてあるのに気づきます。この配置にも深い由縁があつたことだろうと、僧侶は感じ入って落涙し、そのありがたさを同伴した人にも説きました。しかし、神社の宮司にその理由を尋ねてみると意外な話が・・・。

いつの世も変わらない、ありがちな失敗譚をユーモラスに描いたこのエピソードは『徒然草』の二三六段で、教科書にも多く取り上げられています。

鎌倉時代末期に書かれた『徒然草』は、日本を代表する随筆文学の一つです。全二四四段で構成される内容は芸術に関するもの、説話的なもの、評論的なものなど、バラエティー豊かですが、いずれも著者の深い教養と鋭い観察眼がうかがえます。

著者の兼好法師（一二八三？～一三五〇年？）は京都にある吉田神社の神職の家に生まれ、後二条天皇に仕えましたが、出家して隠居生活を送りました。歌人としても知られ、当時の和歌四天王の一人に入っています。

